

# サミット、環境問題を学ぶ



サミットや身近な環境問題について解説した出前講座。生徒たちが真剣に耳を傾けた

# 出前講座で学んだ



# 西陵中のみなさん

室工大と道新が二〇〇七年三月、地域貢献や情報発信を目指して始めた「ひと・ものプロジェクト」の一環。西陵中の三年生約八十人が参加した。

室工大建設システム工学科の吉田英樹講師は「水について考えよう」と題して世界の水不足を取り上げた。世界で十億人以上が

安全な飲み水を利用できず、年間百五十万人の子どもが死亡している実態を紹介し、「温暖化が世界の乾燥化に拍車をかけています」と指摘した。

後、サミット取材の体験談も披露。「北海道で初めてのサミット。各国政府や警備、報道関係者が多数訪れます。注目してみてください」と呼びかけた。

サミット出前講座は三ヶ月から始まっており、サミット開幕前の六月中旬まで西胆振の小中学校で行う。

会議でしょ、といつ感じだったと思います▼でも、アメリカやロシアなど主な国の大統領や首相が一堂に会して、世界の大事な課題について話し合う、その会議が洞爺湖を舞台に皆さんのお住むこの西胆振で開かれるのです▼「そんなの関係ねえ」と言つた

室工大  
吉田講師  
温暖化と水不足取り上げる

**【登別】**七月の北海道洞爺湖サミットに向け、子どもたちの関心を高めようと、室蘭工業大と北海道新聞室蘭支社は二十六日、市立西陵中（吉野幸広校長）でサミット出前講座を開いた。サミットの歴史や意義に加え、議題となる環境問題について室工大教員や道新記者がスクリーンを使って解説した。

ひビモロ  
プロジェクト

インターネットで道新ニュース  
[www.hokkaido-np.co.jp](http://www.hokkaido-np.co.jp)

ご購読申し込みは  
**0120-464-104**

新道大工室

# 西陵中で出前講座

今春、北海道新聞が大きな文字に！

道新幌別販売所  
0120-876-521



## 【ドイツ】

メルケル首相はドイツ史上初の女性首相として知られていますが、その経歴は政治家としては、ちょっとユニークです。もともと彼女は何をしていました?

- ① 物理学者
- ② 数学者
- ③ 天文学者

## 【日本】

日本では過去4回、サミットが開かれています。最初の3回は東京でしたが、2000年は東京以外で開催されました。さて、メインの会場はどこだったでしょう。

- ① 大阪府
- ② 神奈川県
- ③ 沖縄県



## 【カナダ】

豊かな自然で知られる、カナダは第1回のサミットには参加していませんでした。その後、参加することになるのですが、さて、何回目から参加した?

- ① 2回目
- ② 10回目
- ③ 13回目



## 【ロシア】

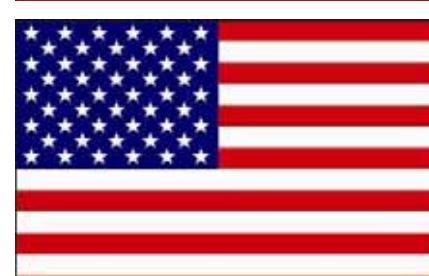
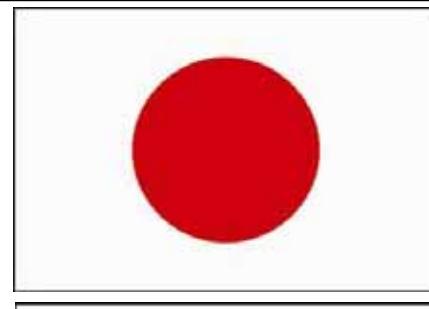
ロシアがサミットに正式に参加したのは1997年から。その後、ロシアでもサミットが開かれましたが、最初の開催地は首都・モスクワではありませんでした。さて、どこだった?

- ① サンクトペテルブルク
- ② ハバロフスク
- ③ ユジノサハリンスク



# これができればあなたもサミット博士!

## G8横断ウルトラクイズ



## 【イタリア】

イタリアは北海道洞爺湖サミットに続く、2009年のサミット開催国です。すでに開催場所も決まっています。さて、次回の開催地はどこでしょう?

- ① シチリア島
- ② マッダレーナ島
- ③ コルシカ島

## 【米国】

第1回サミットに出席の米大統領は、大統領選で選ばれることはありませんでしたが、93歳165日と米大統領としては最長寿記録を更新しました。さて誰でしょう?

- ① レーガン大統領
- ② フォード大統領
- ③ カーター大統領



## 【英国】

2005年の英国でのサミットの際、当時のブレア首相は議長ながら、会議を中止するしかありませんでした。さて、その理由は?

- ① 自身の腹痛
- ② 夫人の出産
- ③ テロ



## 【フランス】

サミット開催のきっかけは石油ショック。当時のフランス大統領が開催を提唱しました。さて、最初にサミットが開かれたフランスのお城はどこ?

- ① シャンティイ城
- ② ランブイエ城
- ③ シャンボーラ城